

消化器・肝臓センター

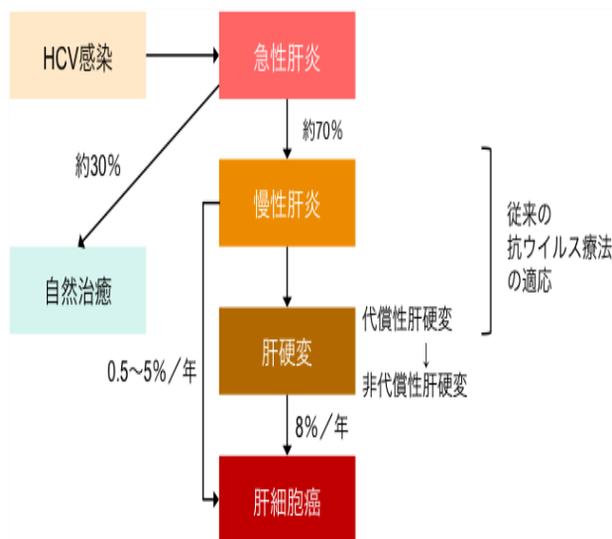


NEW ーす NO.46



2019.4

C型肝炎ウイルス感染症に対する 新たな治療薬が保険適応となりました。



C型肝炎及びC型代償性肝硬変の治療としてはかつてはインターフェロン製剤が中心でしたが近年、IFNを必要としない直接作用型抗ウイルス薬（DAA）での治療が可能となり、C型肝炎ウイルス感染症に対する治療は飛躍的に進歩しました。

しかし、C型非代償性肝硬変（腹水・浮腫、静脈瘤、肝性脳症など肝機能低下や門脈厚亢進症による症状を伴う肝硬変）に対する抗ウイルス治療は承認されておらず、またDAA治療で完全にウイルスを排除できなかった症例に対する治療の選択肢も限られていました。

このような患者さんに抗ウイルス治療を行うための抗ウイルス療法薬である「ソホスビル/ベルパスビル（商品名：エプクルーザ配合錠）」の製造販売がこのたび2019年1月に承認されました。

エプクルーザ配合錠



・C型非代償性肝硬変患者さん

成人には1日1回1錠を12週間内服します。

・治療歴があるC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変患者さん

リバビリンを併用して通常、成人には1日1回1錠24週間内服します。

当院では2019年4月より使用可能となります。C型肝炎、肝硬変ならびに肝機能異常など何かお困りのことがございましたら是非とも当院にお越しく下さい。

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

消化器内科
青井 健司・垣田成庸

